5がつひかりごう

令和７年５月１日　輝保育園

新年度を迎え、1ヶ月が過ぎました。新しいクラスに色々な思いを感じた1ヶ月だったと思います。新入園児の泣き声も、少しずつ聞こえなくなり、笑顔でおやつを食べたり、おしゃべりしたりする姿が見られています。子ども達が、安心して過ごせる場だと感じられるようになったのだと思います。これからも、保育士との関係を深めながら、沢山の体験を重ねていきます。連休明けは、お家の方が恋しくなったり、疲れが出たりすると思います。　体調管理に留意しながら過ごしましょう。

（（（　お 願 い　）））

副食費、絵本、延長保育料、体操服など、保育園を通じて購入、支払いをされることがあるかと思います。　その際は、お釣りの無いようにお願い致します。　又、複数の支払いをまとめるのはおやめ下さい。　夫々の袋に、お釣りの無いように入れて保育士に渡してください。

★　もう一つ　★

帽子のゴムは伸びていませんか？　戸外活動が盛んになってきました。　帽子のゴムが伸びていたり、長すぎたりする子も見られます。　小さい子は、頭のサイズが小さいので、横や後ろを詰めてもらうと被りやすくなります。　お子様の成長に合わせて、ゴムやサイズの調整をしてください。

＝ ５月の行事予定 ＝

02日（金）　避難訓練
16日（金）　4才児･5才児
　　遠足（チクロス）
　　3才児　遠足ごっこ
（保育園内で遠足ごっこをします）
＊お弁当（おかず入り）を
　　持たせて下さい
20日（火）　尿検査
21日（水）　尿検査
23日（金）　身体測定、お誕生会

===　ナース･レポート　===

【乳幼児が重症化しやすい「百日咳」、患者数722人で最多更新】

激しい咳を引き起こし、乳幼児が重症化しやすい百日咳について、国立健康機器管理研究機構は15日、3月31日～4月6日の1週間の患者数が722人だったと発表した。全ての患者を把握するようになった2018年以降、過去最多の578人だった前週を上回った。都道府県別では、新潟73人、宮崎51人、東京、大阪各44人の順に多い。

4/15　読売新聞オンラインより抜粋

全国で百日咳の患者数が増加しています。百日咳は特有な咳（コンコンと咳き込んだ後、ヒューという笛を吹くような音をたてて息を吸うもの）が特徴で長期に続きます。特に乳幼児は重症化しやすく、命にかかわることがあります。

感染予防のために、ワクチン接種の重要性が指摘されています。赤ちゃんの定期接種だけではなく、ワクチンの免疫効果は4～12年ほどで減弱するため、小中学生も追加接種を検討するとようでしょう。

保育園でも手洗いや咳エチケットを徹底し、感染予防に努めています。ご家庭でも体調管理をしっかり行い、健康な毎日を過ごしましょう！

《《《　お 願 い　》》》

1．クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2．お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3．持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。　名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4．夜更かしをさせず、早寝･早起きをし、しっかり朝食を摂りましょう。

☆☆　家庭の取り組み　☆☆

生活習慣は育ちの基礎

基本的生活習慣と呼ばれる食事、排泄、睡眠、清潔、着脱衣、お手伝い、あいさつといった習慣が年齢相応にきちんと身に付いているということは、子どもの心と体の健やかな育ちにとってとても大切なことです。

現代の子どもの深刻な問題として指摘されている「学ぶ意欲」、「自尊感情」、「規範意識」、「体力等」の低下の一因に基本的生活習慣の乱れがあると考えられています。

1．望ましい「生活習慣」は「自尊感情」
を高める方法の一つです！

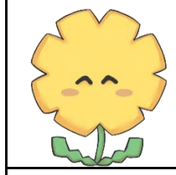
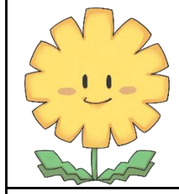
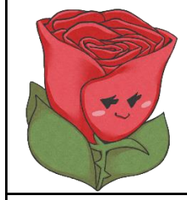
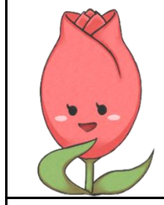
例えば、生活習慣と自尊感情の関係を考えてみましょう。

自尊感情とは「自分自身を基本的に価値あるものとする感覚」のことです。

自分に自信をもち、自己を肯定的に捉えることができるということは、子どもが意欲的に生活し、自分の可能性を伸ばしていくうえでとても大切なことです。

「教育力向上福岡県民運動ホームページ」より抜粋

こどものようす

たんぽぽぐみ 0才児		入園から１ヶ月が経ち、始めの頃は毎日不安で大泣きしたり、遊んでいても思い出し涙する日々でしたが、遊びや食事を通して次第に表情が変わり少しずつ園での生活にも慣れてきたように感じます。表情も和らぎ、ボール遊びや車遊びなど好きな遊びを楽しんで過ごしています。　最近は笑っている声、遊んでいる声、機嫌が良い時の喃語がよく聞こえます。　眠たい時、お腹が空いた時は泣いて教えてくれ子ども達にとって保育士が身近になったことも窺えます。　保護者の皆様は離れている間、不安なことも多いとは思いますが、子ども一人ひとりの気持ちを受け止め、その子らしくいられるように保育をしていきたいと考えています。　5月は長いお休みが入りますが、また保育園で待っていますね。
たんぽぽぐみ 1才児		新年度になり、１ヵ月が経ちました。　４月の初めは、泣き声も少し聞こえていた１才児のお部屋でしたが、段々と落ち着き、自分の気になる玩具の所に行って遊んだり、食事や睡眠が取れるようになったり、保育者が話しかけると笑ってくれたりと、少しずつ園での生活に慣れてきています。　ですが、登園時は大好きなご家族の方と離れることが寂しく泣いてしまうこともありますが、楽しいことも悲しいことも共有していきながら、思いに寄り添うことで少しずつ安心出来る場所･保育者となれるよう関わっています。天気が良い日は、たんぽぽ園庭に出て遊んでいます。　すべり台、アンパンマンの乗り物、鉄棒にぶら下がったり、葉っぱを拾ったりと遊んでいます。　保育者も一緒に遊びながら、こどもたちの笑顔がたくさんの見れるよう好きな遊びを一緒に見つけ楽しんでいきます。
すみれぐみ 2才児		入園、進級から一ヶ月がたちました。　4月は、温かい雰囲気のなか、信頼関係を深め、新しい環境に慣れること、好きな遊びをみつけ、保育士や友だちと安心して過ごすことを目標に取り組んできました。すみれぐみになり、運動場が広くなり、活動範囲も増え、三輪車やスケーター、様々な遊具に関心を持ち、思い切り体を動かし楽しんでいます。　その一方で、環境の変化による疲れも、少しずつ出てくる時期です。　新しい環境の中、楽しいことはもちろん、思い通りにならないこともあり、悔しいことなど、様々な経験をし、毎日精いっぱい頑張っています。　安心して、のびのびと過ごすことが出来るよう、引き続き、信頼関係をしっかりと深めていきます。　ご家庭でも、体と心をゆっくり休める時間を作り、「頑張ってみよう！」「やってみよう！」という、意欲につながるよう、サポートをお願いします。
ちゅうりっぷぐみ 3才児		進級して１か月が過ぎました。進級当初は戸惑う様子もみられましたが、少しずつ３才児クラスでの生活の仕方を覚えてきています。朝保育室に入るとお便り帳にシールを貼る時も「どれにしようかな？」と楽しみのようです。水筒でお茶を飲む時も蓋を開閉できなかったり、注ぎ過ぎてこぼれたりしていますが、毎日の繰り返しで頑張っています。給食ではスプーンを握って食べる姿が多くみられます。三点支持で持つことを声かけすると持ちますが続かない子もいます。今後の箸への移行に向けて取り組んでいきますのでご家庭でもよろしくお願いします。 5月は、気温に応じて汗を拭いたり衣服の調節をしたりして暑さにも少しずつ慣れていくようにします。泥んこ遊びや水を使った遊びも取り入れて、水や泥などの感触や変化なども楽しんでいきます。
ばらぐみ 4才児		幼児期は、以下４つを理解し１０までの操作をできる事が目標とされています。（1.数唱：順に数える2.計数：対応させながら数える3.概括：全部でいくつあるか4.抽出：たくさんあるものの中から一定数を取り出す）そこで、コーナーやおもちゃによって人数制限を設ける際、数字を書いたカードで示し「数」に触れる機会を増やしました。関心がある子を中心に「１，２，３，…」と実際の人数と数字を比較し、調整する姿が見られ始めています。戸外では鬼ごっこが人気です。友達と一緒に遊ぶ楽しさを心いっぱいに感じ、転んでもすぐに立ちあがって走り出すほどパワフルさが増しています。また、虫捕りも人気があり目を凝らして虫を探しています。「テントウムシ虫の本読んで！」と毎日リクエストするほど関心が高まっています。
ひまわりぐみ 5才児		新しい環境にずいぶん慣れてきましたが、まだ少し緊張している姿も見られます。そんな中でも布団敷き、台拭き、お茶つぎ、挨拶などの当番活動に意欲的に取り組んでいます。仲のよいクラスなので、困っている子がいたら声をかけたり保育者に知らせたり、互いに助け合って生活しています。午睡後には頼んでいないにもかかわらず、自主的にゴザを巻いたり片づけたりして手伝ってくれたり、4月の誕生会で歌の出し物をした時は朝から「楽しみ」ととても張り切っていたりと年長らしさを感じます。また、落ち着いて給食を食べることができています。しかし、食器を持って食べる習慣がもう一息といったところで、食べこぼしをしたり肘をついたりする姿が見られます。ご家庭でも食器を持って食べる習慣をつけていきましょう。